

令和7年度市有財産に関するサウンディング型市場調査結果

対象財産：（財産番号2）尾道市因島フラワーセンター

提 案 事 業 者	提 案 内 容
事業者 A (建設・宿泊業者)	【活用案】愛犬特化型グランピング事業
	・ 因島の豊かな自然を活かした、愛犬家向けの滞在型観光施設による尾道市全体の観光拠点形成を想定 ・ 地元産品の活用による農水産業支援、地元雇用の創出、来島により経済波及効果、日帰りバーベキュー施設を新設し、地産地消を促進 ・ 大温室、研修室は解体された後、土地を購入、一部施設は改装及び賃貸借を検討
事業者 B (宿泊業者) ※旧南小学校・旧瀬戸田荻ふれあい館の事業者Gと同一の事業者	【活用案】地域全体が活性化するせとうち周遊型観光体験事業
	・ 尾道市因島フラワーセンターを宿泊施設、旧南小学校と旧瀬戸田荻ふれあい館を美術館、飲食店、宿泊施設の複合施設として活用。尾道市内で運営している既存事業とも連携し、自転車やフェリーで移動して旧尾道から向島、因島、生口島を周遊する体験を広め、地域全体が活性化する周遊型観光体験を提供 ・ 尾道市因島フラワーセンターの庭園部分と旧瀬戸田荻ふれあい館から海辺にかけての一角は、地域住民の憩いの場として開放し、各種イベントを開催 ・ 周遊型拠点の周囲から、地域の雇用創出による活性化に加えて、利用者の中長期滞在及び二拠点活動による関係人口の増加に貢献 ・ 土地建物は購入、既存建物は可能な限り維持することを前提に修繕改築